

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月28日

木曾 地域振興局

| | | | | | |
|----------------|--|--|--|------------|--|
| 提出区分 | 実績 | | | | |
| 整理番号 | 9 | 課題区分 | C | | |
| 実施機関 | 木曾地域振興局 | | | 担当課 | 林務課 |
| 事業名 | 木曾地域木材産業振興対策協議会 | | | 電話 | 0264-25-2225 |
| | | | | E-mail | kisochi-rimmu@perf.nagano.lg.jp |
| 事業の概要 | 目的 (目指す姿) | 木曾地域の林業、木材産業の高付加価値化を推進するため協議会等を開催し、産業としての林業振興を図る。 | | | |
| | 現状と課題 | 木曾地域は総面積の93%を森林が占める中で、天然木曾檜が希少となる一方、高品質な人工林の木曾ヒノキやカラマツの資源が充実してきている。 しかしながら、地域資源を利活用を支える林業や木材産業は、生産性向上や付加価値を高める体制づくりが立ち遅れ、様々な条件整備等は進めているものの、未だ多くは原木のまま県外を中心に移出している現状にある。 こうした中で、昨年実施した「木材需要動向調査」のデータ分析結果などを基に、木材の地域循環利用や高付加価値化について検討を行い、地域を支える産業として自立していく必要がある。 | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | ・ 林業、木材産業の高付加価値化を推進するための協議会を設置し、「ブランド化」「情報発信」「販路拡大」「人材育成」等様々な推進方を検討 ・ 高付加価値化に向けての関係者等を対象としたセミナーの開催 (事業実施に伴う、報償費及び費用弁償の減) | | | |
| 事業期間 | 平成30年9月20日 | | ～ | 平成31年3月15日 | |
| 成果目標 (成果指標) | 課題解決に向けた取組の展開による製材業の製品出荷量の増加 | | | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 実績額 | 備考 | |
| | 協議会の設置、開催 | 協議会の開催 | 280,320 | (3回×委員11名) | |
| | セミナーの開催 | 高付加価値化セミナーの開催 | 27,990 | (1回) | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 308,310 | | |
| 事業実績・成果 | 事業実績 | 事業の成果 | 評価 | | |
| | 管内における林業・木材産業の有識者や関係者11人により、「木曾地域木材産業振興対策協議会」を設置し、木曾地域の木材産業の課題解決に向けた具体的な展開策や林業・木材産業の高付加価値化に向けた取組等について、3回会議を開催し多様な項目について検討した。また、セミナーを開催し、新製品開発や販路開拓について、関係者の意識の高揚を図ることができた。 | ○木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化(地域に如何に財を生み出すか)について、今後取り組むべきロードマップを策定し、各関係者の役割分担の明確化や高付加価値化に向けた展開の道しるべを策定することができた。 | ○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下 | | |
| 今後の方向性 | 策定した「木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けたロードマップ」に基づき、産・学・官で協働し取組の展開を図る。 | | | | |